

令和2年度第38回広島市立広島特別支援学校小学部卒業証書授与式
校長式辞

正門のそばにある桜の木につぼみが膨らんで「はよ咲きたい」と言っています。春は、すぐそこまでやってきています。

小学部第6学年28名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。6年前の4月、初めての出会い、初めての友達、不安と楽しみでときどきしていました。一日一日学校生活に慣れた。一日一日強くなった。一日一日大きくなった。泣き虫だったけど泣かなくなった。できないことが一杯だったけど、いつの間にかできるようになった。小学部6年間、心も体も大きく成長された卒業生の皆さんに大きな拍手を贈ります。

卒業生の皆さんが、しっかりと受け取ることができた卒業証書。この卒業証書は、平和記念公園にある原爆の子の像に日本中から、世界から捧げられた折り鶴の再生紙でできています。本校の高等部を卒業した先輩が働いているところで、皆さんのために心を込めて作られたものです。この卒業証書には、6年間のたくさんの思い出が一杯詰まっています。泣いたり笑ったり、友達と一生懸命に勉強してきた。一生懸命生きてきた。つらいことも悲しいことも乗り越えてきた。卒業生の皆さんへのお祝いの贈り物が、この卒業証書です。

立派な卒業生の皆さんをこれまで育ててこられました保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。お子様は、精一杯ここまで歩んでこられました。持てる力を最大限発揮されてきました。お子様を、支え、育ててこられた保護者の皆様の御労苦はいかばかりかと御推察いたします。本校の教育に御理解と御協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。引き続き、御支援を賜りますようお願いいたします。

卒業生の皆さんの活躍する姿を紹介します。小学部4年生での校内宿泊。学校でのお泊りは、不安だった。でも、友達と一緒にだったから安心できた。晩御飯も朝御飯も友達と一緒に。夜になり、暗い中での楽しみ会。友達がいたから寂しくなかった。楽しかった。明るく、元気に、たくましく、乗り越えることができた。5年生、三滝少年の家での野外活動。揺れる吊り橋も、勇気を出して渡った。皆で歌って踊ったキャンプファイヤー。明るく、元気に、たくましく、乗り越えることができた。6年生になったら、新型コロナウイルスが流行り、学校が長く休みになりました。6月から待ちに待った学校が再開。久しぶりの友達。学校に一杯の笑顔が戻ってきました。給食も始まった。やっぱり友達と食べる給食は、最高。運動会が中止になったのは、とても残念でしたが、毎年6年生が運動会で行う応援団を作り、ソーラン節の練習を行いました。11月の修学旅行。宿泊先の神田山荘で「応援団～ソーラン節」を発表しました。6年生全員でかっこよく、見事に踊りました。明るく、元気に、たくましく、乗り越えることができました。修学旅行が終わっても、「学校応援団」として、ソーラン節で小学部全員にエールを送りました。

大好きな卒業生の皆さん、勇気と元気と笑顔をありがとう。中学部でのますますの活躍を、応援しています。卒業生6年生の応援団より。

令和3年3月18日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行